

令和5年度長野市地域包括支援センター事業報告

1 高齢者を取り巻く現状と将来の見通し

■ 高齢者数の増加と高齢化率の上昇

	第八次・第七期			第九次・第八期			増減率
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	H30-R5
総人口(A)	378,351	376,104	374,273	371,997	369,421	366,231	-3.2%
0～14歳(B)	47,973	46,855	45,838	44,882	43,736	42,439	-11.5%
割合 (B÷A)	12.7	12.5	12.2	12.1	11.8	11.6	-1.1 P
15～64歳(C)	220,557	218,744	217,098	215,012	213,475	211,593	-4.1%
割合 (C÷A)	58.3	58.2	58.0	57.8	57.8	57.8	-0.5 P
40～64歳	127,803	126,888	126,656	125,858	125,561	124,927	-2.3%
65歳以上(D)	109,821	110,505	111,337	112,103	112,210	112,199	2.2%
割合 (D÷A)	29.0	29.4	29.7	30.1	30.4	30.6	1.6 P
65歳～74歳(E)	51,461	50,882	51,076	51,922	50,207	48,235	-6.3%
割合 (E÷D)	46.9	46.0	45.9	46.3	44.7	43.0	-3.9 P
75歳以上(F)	58,360	59,623	60,261	60,181	62,003	63,964	9.6%
割合 (F÷D)	53.1	54.0	54.1	53.7	55.3	57.0	3.9 P

※資料：長野市企画課統計資料から引用(各年10月1日現在)

■ 高齢者数と高齢化率の推計

～超高齢化社会の到来～

○令和8年 高齢化率**31.5%** ○令和22年 総人口の**約4割**を占める

○前期高齢者数は 後期高齢者数は



■ 今後は認定者数の増加が予想される

○認定率の高い後期高齢者数の増加に伴って認定者数・認定率は増加していく

➡ 令和22年には3万人に迫る認定者数になると推計



2 担当地区の高齢者人口(65歳以上人口)及び要介護認定者の状況 (人)

地域包括支援センター(担当地区)	老年人口 (65歳以上)			要介護・要支援 認定者状況		
	R6	R5	増減	R6	R5	増減
中部(戸隠・鬼無里)	2,222	2,266	△ 44	420	418	2
コンフォートにしづるが(第一・第三・第四・第五)	6,255	6,307	△ 52	1,340	1,340	0
博愛の園(第二・浅川・芋井)	7,138	7,192	△ 54	1,337	1,313	24
芹田(芹田)	6,781	6,694	87	1,110	1,114	△ 4
ニチイケア高田(古牧)	6,261	6,183	78	975	1,021	△ 46
ケアポート三輪(三輪)	4,926	4,893	33	1,079	1,079	0
吉田(吉田)	4,812	4,729	83	904	860	44
富竹の里(古里・柳原・長沼)	6,954	6,989	△ 35	1,111	1,093	18
コンフォートきたながいけ(大豆島・朝陽)	7,533	7,446	87	1,232	1,224	8
若槻ホーム(若槻)	5,939	5,896	43	1,204	1,186	18
安茂里(安茂里・小田切・七二会)	7,443	7,439	4	1,502	1,476	26
篠ノ井総合病院(篠ノ井(中央・信里))	5,328	5,346	△ 18	877	875	2
桜ホーム(篠ノ井(川柳・塩崎)・信更)	3,992	4,012	△ 20	803	826	△ 23
やすらぎの園(篠ノ井(東福寺・西寺尾・横田・合戦場))	2,588	2,559	29	468	463	5
星のさと(篠ノ井(共和)・川中島)	8,844	8,723	121	1,506	1,501	5
長野松代総合病院(松代)	6,307	6,355	△ 48	1,197	1,224	△ 27
ケアプラザわかほ(若穂)	3,958	3,968	△ 10	659	655	4
インターコート藤(更北(青木島・真島))	5,159	5,071	88	932	912	20
コスモス(更北(小島田・稲里))	3,600	3,632	△ 32	639	658	△ 19
豊野サブセンター(豊野)	3,105	3,102	3	558	547	11
新町病院(信州新町・大岡・中条)	3,174	3,270	△ 96	709	714	△ 5
計	112,319	112,072	247	20,562	20,499	63

※資料:長野市企画課統計資料から(老年人口:令和6年5月1日現在)

※資料:長野市介護保険課介護保険フレッシュ情報Vol 592

R6. 5.20号から(要介護・要支援認定者状況:令和6年4月末現在)

3 地域包括支援センター職員数(R6.4.1現在)

地域包括支援センター	職種									R6計	R5計	R6-R5
	主任ケアマネジャー	保健師	社会福祉士	医師	精神保健福祉士	保健師に準ずる看護師	ケアマネジャー	理学療法士	事務			
中部	1	4	2		1	2	2		4	16	17	△1
コンフォートにしつるが	2	1	2						1	6	5	1
博愛の園	2		1			1			1	5	5	
芹田	1		3			1	1			6	5	1
ニチイケア高田	2		1			1			1	5	6	△1
ケアポート三輪	1	1	2	1				1		6	5	1
吉田	2	1	1							4	4	
富竹の里	1		2			1	1		1	6	5	1
コンフォートきたながいけ	2		1			1	1			5	5	
若槻ホーム	2		2			2				6	6	
安茂里	3		1			1				5	5	
篠ノ井総合病院	2		1			2				5	4	1
桜ホーム	1	1	1			1				4	4	
やすらぎの園	1	1	1			1	1			5	5	
星のさと	2	1	2			1	1		1	8	8	
長野松代総合病院	1	1	2						1	5	4	1
ケアプラザわかほ	1		3			1				5	6	△1
インターコート藤	1	3	3							7	4	3
コスモス	2	1	2						1	6	5	1
豊野サブセンター	2		1						1	4	3	1
新町病院	1	1	1			1				4	4	
計	33	16	35	1	1	17	7	1	12	123	115	

4 包括的支援事業

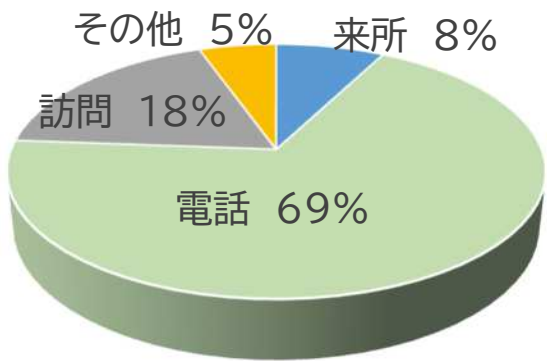
(1) 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で、安心して、その人らしい生活を継続していくことができるように、どのような援助が必要かを把握し、適切なサービスや機関・制度の利用へつなげるなどの支援を行う。

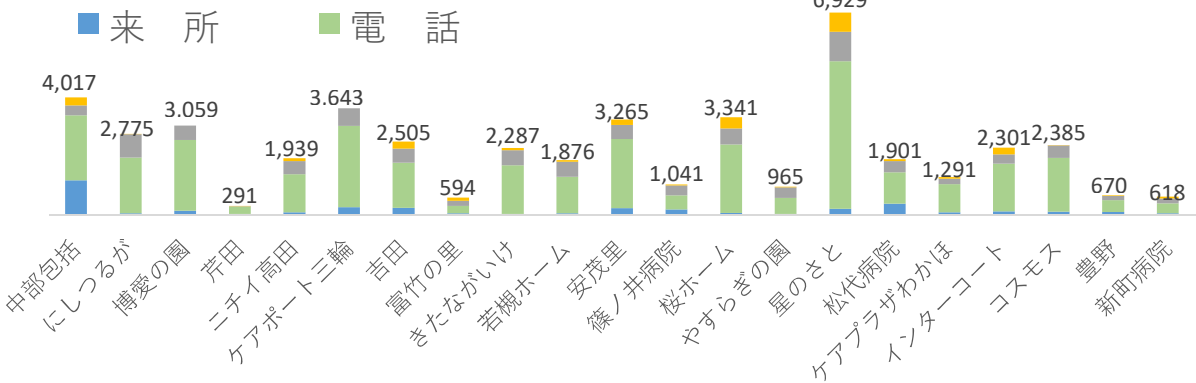
ア 相談受付件数 (単位:件)

相談支援	R5年度	R4年度	R3年度
来 所	3,661	3,517	3,107
電 話	32,669	31,331	27,481
訪 問	8,751	8,670	7,615
そ の 他	2,612	2,436	1,826
計	47,693	45,954	40,029

R5年度 相談受付の状況

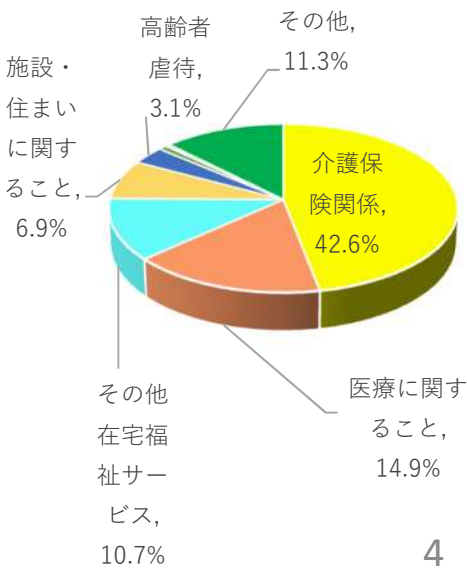


地域包括支援センター相談受付状況



イ 相談内容の内訳(延べ件数)

相談内容	R5年度	R4年度	R3年度
介護保険関係	42.6%	47.7%	43.5%
介護予防・生活支援サービスに関すること	9.1%	—	—
その他在宅福祉サービスに関すること	10.7%	12.1%	13.5%
医療に関すること	14.9%	16.0%	17.0%
施設・住まいに関すること	6.9%	7.7%	9.6%
高齢者虐待	3.1%	3.5%	3.3%
成年後見制度	0.8%	1.0%	1.4%
消費者被害	0.1%	0.1%	0.2%
苦情対応・調整	0.3%	0.4%	0.3%
介護者の離職防止	0.1%	0.1%	0.1%
その他	11.3%	11.4%	11.1%



ウ 各地域包括支援センターの取組み

地域における多職種協働によるネットワークの構築とその活用について

- ・地域福祉ワーカー、助け合いコーディネーター等と協働し多職種協働による会議を月1回実施している。
- ・民生児童委員、保健センター、市、医療機関、教育機関、警察等と連携を図りながら、必要に応じてケア会議を開催して。
- ・年4回広報誌を発行し、担当地区に全戸回覧、地域のクリニックへ配布している。作成については地域関係者と協働して作成している。

初期対応と課題の明確化について

- ・対応した内容について相談記録を作成し、職員に情報共有している。必要に応じ、関係機関や中部包括支援センターへ連携・相談している。

継続的・専門的相談支援の適切な対応について

- ・サービスや事業所の一覧を掲示する等、複数の選択肢があることを相談者が知る機会を設けている。長期化する困難ケースにおいては、状況に応じ2名体制で対応している。
- ・長野大学の鈴木先生による「倫理」の講義を、管内ケアマネジャー連絡会で実施し、公正かつ中立な立場で、継続的・専門的な相談支援に努めることができた。

(2) 権利擁護事業

高齢者虐待や消費者被害などの権利侵害に対する支援を図るとともに、成年後見制度等の活用に向けた支援を行う。

ア 高齢者虐待防止ネットワーク運営協議会

令和5年9月8日開催 (主な議題)	正副会長の選出について
	令和5年度 高齢者虐待防止に関する事業予定について
	令和4年度 長野市における高齢者虐待の対応状況について
令和6年2月9日開催 (主な議題)	養護者及び養介護施設従事者等による高齢者虐待対応状況等について
	高齢者虐待対応に係る関係機関との連携等について
	長野市高齢者虐待防止講演会について

イ 長野市高齢者虐待防止講演会

高齢者虐待の 『発見・気づき』から 始まる支援	開催日	令和6年2月14日(水) 午後2時00分～4時30分
	講演方法	ZOOMによるオンライン研修
	講師	長野県社会福祉士会 虐待対応委員会委員長 渋沢昌記 社会福祉士
	内容	虐待が発生する要因として介護者の介護疲れやストレスによるものが多い。高齢者虐待に関する正しい知識と理解を持ち、早期に発見・相談に繋げるために必要な「発見及び気づき」の習得を目的として、介護支援専門員等を対象に、「虐待対応におけるケアマネジャーの視点」に関する講演会を開催
	参加人数	168名

ウ 高齢者虐待相談通報件数

※施設虐待の件数を除く（単位：件）

実件数		R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
		133	92	100	113
相談通報者内訳	本人	7	5	2	9
	養護者	11	6	0	1
	ケアマネ・介護サービス事業者等	115	81	98	103
虐待認定件数		57	43	34	37

エ 権利擁護に関する関係団体との連携

「高齢者の権利擁護」について、適切な支援や素早い対応を正確に行うためには、各関係団体との連携は欠かせません。

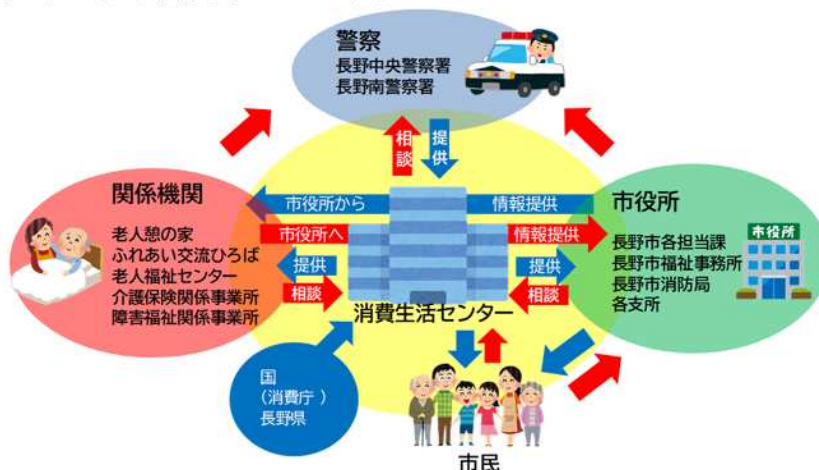
令和5年度に業務上で連携し、協力し合った主な団体は下図のとおりです。



オ 消費者被害に関する連携

消費者被害については、下図のように各関係機関と長野市消費者生活センターが連携し、相談・報告及び被害情報の提供を行っています。

また、地域包括支援センターでは、地域で開催される会議や民生委員児童委員協議会、地域の通いの場などの高齢者のみなさんが集まる場で情報提供を行い、被害にあわないよう啓発しています。



カ 各地域包括支援センターの取組み

権利擁護に関する啓発活動について

- ・消費者被害防止の啓発活動について、はつらつ体操、フレイル予防講座など地区で開催されているところに出向き、被害状況の報告、防止対策を説明した。
- ・地区サロンや民生委員の研修の場でチラシを配布した。
- ・ケアマネ連絡会等で権利擁護についての勉強会を開催し、実践につながるよう周知している。

高齢者虐待への対応と関係機関との連携について

- ・虐待通報では、既存のネットワークを活用し、情報収集に努めた。ハイリスクなケースについては、ケアマネの後方支援を行い予防に注力した。
- ・市のマニュアルに沿って、少しでも虐待の疑いがあれば受付し、包括内で協議し、速やかに市に報告している。
- ・市のコアメンバー会議や虐待対応計画に沿って関係機関と連携を図り支援体制を整え計画的な対応をしている。

成年後見制度、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業・暮らしのあんしんサービス事業等の活用について

- ・成年後見支援センターや社会福祉協議会と連携して成年後見や日常生活自立支援事業、暮らしのあんしんサポート事業の利用につなげた。
- ・判断能力が低下している高齢者やその家族に対し、成年後見の説明を行い、おひとりさま安心サポート相談室につなげ今後の対応について検討している。
- ・弁護士相談会で制度活用の適正について個別相談を行っている。
- ・金銭管理が必要な高齢者に対し、日常生活自立支援事業の情報提供を行い、利用につながった。

消費者被害への対応について

- ・消費生活センターなどからの事例を共有し、民生委員児童委員会定例会などで注意喚起している。
- ・消費者被害の事例の情報共有を行い、利用者への訪問時や地域のはつらつクラブに顔を出した際に適宜注意喚起のチラシを渡し説明している。

高齢者の権利擁護に関する職員の資質向上について

- ・個別ケースを検討する中で、多職種それぞれの経験や専門性に基づいた意見を交換し、互いに無意識の偏った見方やパターン化した考え方に気を付けるよう心掛けた。



(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続するため、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントが実践できるように、地域の関係機関との連携、ネットワークを構築するとともに、個々のケアマネジャーへのサポートを行う。

ア ケアマネジャーに対する研修会と連絡会の実施

ケアマネジャーの資質向上と連携、顔の見える関係の構築のため、全体研修会と各包括毎の連絡会を開催

全体研修会

日常生活上の管理が大切となる心疾患を学び、重症化予防の視点を持ったケアマネジメントができるように講演会を開催した。

講 演	「シニアの心臓が危ない！～SOSを見逃さないで～」
講 師	講師：国保・高齢者医療課 保健師 西澤補佐
説 明	個別避難計画の作成について、在宅医療・介護連携システムについて 安心おかえりカルテ様式及び実施方法の変更について 等
日 時	令和5年9月13日(水) 午後1時30分～3時30分
場 所	長野市若里市民文化ホール
参加者	248人

包括単位ケアマネジャー連絡会

包括支援センターが中心となり管内のケアマネ連絡会を開催し、情報共有や勉強会を実施することでのスキルアップを図る。

地域包括支援センター名	回数	参加者数	地域包括支援センター名	回数	参加者数	地域包括支援センター名	回数	参加者数
中部	2	28	富竹の里	2	27	星のさと	1	43
コンフォートにしつるが	1	25	コンフォートきたながいけ	7	148	長野松代総合病院	2	56
博愛の園	4	36	若槻ホーム	1	19	ケアプラザわかほ	2	56
芹田	3	76	安茂里	2	38	インターコート藤	1	11
ニチイケア高田	2	44	篠ノ井総合病院	4	82	コスモス	1	16
ケアポート三輪	3	46	桜ホーム	3	72	豊野サブセンター	2	21
吉田	2	31	やすらぎの園	2	32	新町病院	2	33

イ ケアマネジャーへのサポート

個々のケアマネジャー支援は、「包括的・継続的ケアマネジメント業務」の中でも重要な業務である。

ケアマネジャーが支援困難事例を抱えていることも多いため、地域包括支援センターの専門職が具体的な助言をするとともに同行訪問、サービス担当者会議への出席など、現場での支援も積極的に実施している。

(件)

	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
電話	1,679	1,645	1,762	1,405
来所相談	533	443	385	270
同行訪問	294	201	222	147
その他	149	137	165	91
合 計	2,655	2,426	2,534	1,913

ウ 各地域包括支援センターの取組み

地域のケアマネジャーに対する個別支援について

- ・地域のケアマネジャーからの電話や来所相談に対応した。
- ・困難事例と感じる個別事例の相談に3職種で検討を行い、ケア会議の場を活用し支援を行っている。
- ・ケアマネ連絡会に地域福祉コーディネーターの参加を仰ぎ、地域の現状把握と同時にケアマネジャーが感じている地域の現状や地域への要望や意見を伝える機会を持った。

地域包括ケアシステムの構築に向けての体制作りについて

- ・地域福祉推進員の研修会において、地域包括支援センターの周知、意見交換を行った。



(4) 介護予防ケアマネジメント事業

高齢者が要介護状態になることを予防し、できる限り自立した生活を送ることができるように支援を行う。

ア 介護予防サービス(予防給付)事業

介護保険法第8条の2に基づく事業	
利用者	要支援1、2
利用できる介護サービス	介護予防訪問入浴介護、介護予防訪問看護、介護予防訪問リハビリテーション、介護予防居宅療養管理指導、介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所生活介護、介護予防短期入所療養介護、介護予防特定施設入居者生活介護、介護予防福祉用具貸与及び特定介護予防福祉用具販売

イ 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業サービス)

介護保険法第115条の45第1項第1号及び長野市介護予防・日常生活支援総合事業に係る指定第1号事業の従業者、設備及び運営の基準等に関する条例に基づく事業	
利用者	要支援1、2、事業対象者
利用できる介護サービス	介護予防訪問介護相当サービス、訪問型基準緩和サービス、介護予防通所介護相当サービス、通所型基準緩和サービス

※認定者数は、住民票の住所に基づいて算定しているため、地区包括のサービス利用者数とは異なります。(人)

地域包括支援センター名	認定者数 ※				予防給付サービス利用者数		総合事業サービス利用者数	
	要支援1 ①	要支援2 ②	事業対象者 ③	計 ④ (①+②+③)	利用者数 ⑤	利用率 (①+②)/⑤	利用者数 ⑥	利用率 ④/⑤
中部包括	58	20	49	78	22	28.2%	21	16.5%
コンフォートにしつるが	174	202	58	376	159	42.3%	110	25.3%
博愛の園	178	155	84	333	117	35.1%	94	22.5%
芹田	175	155	43	330	139	42.1%	106	28.4%
ニチイケア高田	109	117	46	226	97	42.9%	68	25.0%
ケアポート三輪	157	170	12	327	143	43.7%	88	26.0%
吉田	124	163	19	287	114	39.7%	91	29.7%
富竹の里	195	129	102	324	145	44.8%	120	28.2%
コンフォートきたながいけ	141	163	72	304	133	43.8%	88	23.4%
若槻ホーム	173	165	42	338	134	39.6%	107	28.2%
安茂里	235	228	90	463	189	40.8%	128	23.1%
篠ノ井総合病院	148	97	30	245	99	40.4%	85	30.9%
桜ホーム	112	102	64	214	110	51.4%	73	26.3%
やすらぎの園	65	69	12	134	65	48.5%	37	25.3%
星のさと	232	204	80	436	192	44.0%	138	26.7%
長野松代総合病院	190	162	10	352	145	41.2%	90	24.9%
ケアプラザわかほ	128	91	18	219	98	44.7%	43	18.1%
インターコート藤	174	110	23	284	121	42.6%	84	27.4%
コスモス	114	80	22	194	73	37.6%	65	30.1%
豊野サブセンター	70	59	20	129	72	55.8%	33	22.1%
新町病院	176	56	67	232	135	58.2%	66	22.1%

1 予防給付サービス利用者数は、総合事業併用者を含みます。

2 総合事業サービス利用者は、総合事業サービスのみの利用者数です。

R6.3月末現在

5 認知症総合支援事業

(1) 認知症高齢者及び家族支援

高齢者の増加に伴い認知症高齢者が増加している。認知症に対する正しい理解の普及、予防及び早期発見のため、認知症の人を支えるネットワークを構築し、在宅介護者を支援する。

ア. 認知症に関する相談事業

専門医などによる認知症相談会（中部地域包括支援センター）

	R5年度	R4年度	R5年度 相談内容
相談回数	7回	11回	認知症状か否かについて(6件) 認知症状への対応(1件) 介護サービスの利用について(1件)
相談件数	8件	13件	
相談医	7医師	11医師	

認知症初期集中支援チーム

認知症の人への早期診断・早期対応のため、中部地域包括支援センターに「認知症初期集中支援チーム」を設置し、医療・介護の専門職による支援体制を組み、地域で生活するためのサポートを行う。

	R5年度	R4年度
初期集中チーム相談件数	13件	19件
訪問延べ数	105件	136件
検討会議	21回	24回

令和5年度
チーム員スタッフ(9人)
専門医(3)
保健師(1)
看護師(2)
作業療法士(1)
社会福祉士(1)
精神福祉士(1)

イ. 認知症の人及び家族を地域で支援する事業

認知症地域支援推進員配置（認知症地域支援推進員研修履修済者）

地域の実情に応じて、地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援及び支援体制の構築を図るため各地域に認知症地域支援推進員を配置している。

認知症地域支援推進員 30人(R4年度 29人)

認知症サポーター講座



認知症を正しく理解し、認知症に対する誤解や偏見を解消し、認知症の人やその家族を応援する人(認知症サポーター)が地域で増えるように実施

認知症サポーター数 45,811人 (R4年度 44,285人)

認知症カフェ(オレンジカフェ)への支援

認知症の人ができることを発揮できる自己実現の場、家族が介護の悩みなどを共有できる場、地域の人が認知症を理解できるコミュニティの場として開設。長野市では平成26年度から設立に伴い補助金(上限20万円)を交付するほか、開設及び継続支援を行う。

開設数 16か所 (R4年度 開設なし【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため】)

安心おかえりカルテの作成支援

平成26年10月から実施の事業。認知症高齢者がはいかい等により行方不明になった際、家族が警察への行方不明者届に活用できるように認知症高齢者本人に関する情報を記載するカルテの作成を地域包括支援センターが主体となって支援を行う。

令和5年10月から、本人・家族の同意が得られた場合は、警察とも情報を共有している。

安心おかえりカルテ作成数 62件 (R4年度 41件)

ウ 各地域包括支援センターの取組み

市認知症ケアパスの活用について

- ・長野市版ケアパスを用いて市の認知症施策の活用や社会資源の把握に努め、段階に応じて関係機関につなげている。
- ・認知症の相談ケースの際に市の認知症ケアパスを利用し、説明している。

専門的なサポート体制の強化について

- ・かかりつけ医や認知症専門医へ情報提供を行い、相談者の受診付き添いや連携を図り、サポート体制の強化に努めている。認知症初期集中支援チームとの共有や連携を実施している。

認知症高齢者(家族)支援体制の強化について

- ・認知症相談会等の紹介。治療に向けた医療機関との連携や受診同行。認定申請やサービス利用へのケアマネジメント。オレンジカフェへの参加など地域への紹介など支援を相談会の情報提供、オレンジカフェの利用など支援を行う。
- ・ご家族やケアマネに「安心おかえりカルテ」の作成の目的や作成方法について説明し、活用につなげている。
- ・地区内の中学1年生に向けてサポーター養成講座を開催した(住民自治協議会と共催)。
- ・地区内の小学校でサポーター養成講座を開催した(住民自治協議会と共催)。
- ・地域の通所介護事業所や居宅介護支援事業所、交番の職員とサポーター講座で寸劇を行い、支援体制を強化した。



「認知症地域支援推進員」は、各包括支援センターに1名以上配置されています。



6 地域ケア会議

個別ケア会議で把握された課題や複数のケースに共通した課題、地域から投げかけられた議題、関係機関との連携から見出された課題などから地域課題の発見・把握及び地域づくり・資源開発を目的に開催する。

地域包括支援センター	地区名	主な開催内容（①②・・・は開催数）
中部	戸隠	①高齢者の免許返納 ～運転免許がなくても暮らせる地域づくり～
	鬼無里	①高齢者の免許返納 ～免許返納後の生活のイメージに向けて～ ②高齢者の免許返納 ～パンフレットの作成に向けて～
コンフォートにしつるが	第一	①地域についての情報共有、地域課題やニーズの把握、今後の取り組みに向けて検討
	第三	①地域住民が福祉用具を通して介護予防や自立に対して意識を高められるような展示会の開催に向けて ②福祉推進員と民生児童委員の連携できる体制づくり ③地域住民が福祉用具を通して介護予防や自立に対して意識を高められるような展示会の開催に向けて
	第四	①地域についての情報共有、地域課題やニーズの把握、今後の取り組みに向けて検討
	第五	①地域についての情報共有、地域課題やニーズの把握、今後の取り組みに向けて検討
博愛の園	第二	①湯谷団地地区福祉懇談会 ～湯谷団地移送支援について～
	浅川	①認知症世界の歩き方を学び、地域にあったらいいな・地域でできそうなことを検討、認知症の理解を深める
	芋井	①小さな場所づくりについて考える ～点在した集落の活動場所～
芹田	芹田	①訪問等の際に対応に困ったことの共有と、災害時の対応方法・芹田地区の自主防災計画について学ぶ ②包括で受けた相談内容の集約から芹田地区の特性を理解し、地域でできることの検討
ニチイケア高田	古牧	①地域貢献について ～地域内の福祉施設等の社会資源の活用に向けて～
ケアポート三輪	三輪	①ヘルパーが足りない ～近隣のたすけあいシステムの構築に向けて～
吉田	吉田	①地域のネットワークづくり ～コロナ禍で停滞した地域づくり～
富竹の里	古里	①高齢者の免許返納・特殊詐欺防犯について
	柳原	①福祉ネットワークの在り方について ②地域ネットワークの在り方 ③孤独死に関して ④福祉ネットワーク会議再開の在り方について
	長沼	①生活課題の聞き取り



地域包括 支援センター	地区名	主な開催内容（①②・・・は開催数）
コンフォート きたながいけ	大豆島	①高齢者の移動について
	朝陽	①高齢者の移動について
若槻ホーム	若槻	①昨年度実施したアンケートの展開、サロン活動、住自協や民児協との かわりについて
安茂里	安茂里	①ゴミ出しから考える地域の支え合い ～より住みやすい安茂里のために～ ②「認知症になっても地域で暮らし続ける」を支えるために ～支援の輪を広げるための情報交換会～ ③『ゴミ出しから考える地域の支えあい』 ～何とかしたいをカタチにしたい～
	小田切	①小田切地区自慢大会 ～小田切地区のここがすごい！～
	七二会	①七二会自慢大会 ～やさしい心と温かい手をつなぐ笑顔と元気の里「七二会」～
篠ノ井 総合病院	篠ノ井 (中央)	①心不全と生きる ～地域で支えるためには～
	篠ノ井 (信里)	①地域づくり・ボランティアの活用について
桜ホーム	篠ノ井 (川柳)	①認知症の理解と認知症の人が地域で暮らしていくには
	篠ノ井 (塩崎)	①認知症の理解と認知症の人が地域で暮らしていくために出来ることを考える
	信更	①はつらつ体操情報交換会 ～活動の継続のために～
やすらぎの園	篠ノ井 (東福寺)	①公営住宅内での組織の役割と連携方法及び今後の取り組みについて ②公営住宅内での組織や後継者について ③地域住民に認知症の理解を深めてもらうには ④公営住宅内での見守り支援が必要な人へのかかわり ⑤公営住宅内での課題の共有
	篠ノ井 (西寺尾)	①対応困難者や心配な独居高齢者の見守りにについて
星のさと	川中島	①どうしたら独居のAさんが住み慣れた地域で暮らし続けられるか
	篠ノ井 (共和)	①地域課題の聞き取り ②高齢になってゴミ出しができなくなったらどうしますか？ ～ゴミ出しから地域のつながりを考えよう～
長野 松代総合病院	松代	①現在の課題と、今後の松代地区をどのように作っていくか考える
ケアプラザ わかほ	若穂	①地域での“ささえあい”“世代間交流”について ②何ができるか、何が必要か考えてみよう
インターコート 藤	更北 (青木島・真島)	①②地域課題における情報交換 ～地区の困りごとの発掘～ ③地区懇談会で挙げた課題の深堀・その他地区課題の検討
コスモス	更北 (小島田・稲里)	①関係者が集い、地域課題を把握し解決に向けて話し合う
豊野	豊野	①一人暮らし高齢者を地域で見守り・支える ～豊野地区で安心して暮らし続けるために～
新町病院	信州新町	①信州新町地区たすけあい事業の見直し(案)の協議方法について ②信州新町地区たすけあい事業の見直し(案)の周知について
	中条	①B子さんの心配事 ～身寄りのあまりいないA子さんについて～
	大岡	①事前検討や会議体ではなく「情報を共有する場」について